

新点数研究会

# マイナス改定に抗議、不合理の是正を



協会淡路支部は3月26日(土)、淡路市立しづかホールにおいて新点数研究会を淡路医師会と共催、106人が参加した。(写真左から)高田裕支部長が司会を務め、講師の大橋明先生、児玉和也先生、高橋雅彦先生、西口弘先生が新点数を解説した。橋田友孝協会理事がストップ患者増署名への協力を訴え、223筆が集まった。

淡路支部ニュース

2016. 4. 25  
No. 324

兵庫県保険医協会淡路支部  
〒656-0051 洲本市物部  
3-3-44 松本産婦人科内  
Tel 0799-2210073

## Let's...

熊本地震に被災された熊本、大分の皆様に心からお見舞い申し上げます。阪神・淡路大震災、先年の淡路地震でかなりの被害を経験しているだけに、今年に変なことが次々と起こっているが地震まで：テレビの解説を聞いてみると、地震さえ変な地震となつている。パナマ文書、韓国はじめ諸国の選挙も多くの問題を提起しそうであるが。

レッツはこれからのことを考えるべきなのである以上、最近最大は志摩サミットでしょう。あれやこれやに目を奪われていても来月なんです。汎世界的行事ですから私などがアレコレ言える問題ではありませんが、場所が三重だけに正に庭先？その前のゴールデンウィークは？関西地方の修学旅行の聖地でもありシーズンでもあることも…

熊本地震に被災された熊本、大分の皆様に心からお見舞い申し上げます。阪神・淡路大震災、先年の淡路地震でかなりの被害を経験しているだけに、今年に変なことが次々と起こっているが地震まで：テレビの解説を聞いてみると、地震さえ変な地震となつている。パナマ文書、韓国はじめ諸国の選挙も多くの問題を提起しそうであるが。

熊本地震一辺倒に近かった民放テレビもようやく元の形に戻りつつあるようである(NHKだけはやはり地震放送時間が長いようである)。ついでと申しあげると？ですがNHK TVにはコマーシャルはないと言われるが、私はNHK自身の宣伝が多くやはりCM時間は結構あると思つている。

元来私はラジオ党で、TVを見る時間は少ないだけに、この地震放送を見ていて時代、季節、画面に現れる人にかなりの変化があるのを知ったのは一つの収穫？と思うともにはやはりテレビが犯罪の方法の一片を教えているように思えてならない。トップが並んで「申し訳ございませんでした」は相変わらず、アクセルとブレーキを踏み間違えて：の増加が多いのは新しい？

寒暖の差が大きい気候は続く、健康に十分ご注意ください！支部総会も来月、これにはぜひご出席を！(21日 松本記)



医療  
機  
関  
職  
員  
接  
遇  
研  
修  
会

ホスピタリティを形にしよう

協会淡路支部は4月9日、洲本市文化体育館で職員接遇研修会を開催、医師、歯科医師、スタッフなど43人が参加した。講師のマネジメント・コンサルタント松田幸子先生が、接遇の基本について、グループごとの実践を交えて解説した。(次号に感想文掲載予定)

兵庫県保険医協会 第89回評議員会

5月15日(日) 於：協会5階会議室

13時～ 評議員会

16時～ 特別講演

テーマ 「本当の医療崩壊はこれからやってくる」

講師 外科医・前済生会栗橋病院院長補佐 本田 宏氏

# 患者負担増計画をストップ！ 県下3万筆達成にご協力を

政府が次々と計画する患者負担増を阻止しようと、協会が取り組む新しい請願署名。7月までに県内で3万筆を目標に取り組んでいます。淡路支部の目標は1000筆です。達成にぜひご協力をお願いいたします。

署名を集めていただくため、ポケットティッシュや投函箱など、さまざまなグッズも用意しています。

注文はTEL078-393-1807/FAX078-393-1820まで。

## 現在の到達状況

県全体	5,351筆
淡路支部	398筆

(4月19日現在)



兵庫県保険医協会

## 第38回淡路支部総会

日時 5月28日(土)15時～

会場 洲本市文化体育館2階 2C会議室

### 記念市民公開企画(参加無料)

15時30分～ ミニ講演

テーマ 「認知症とレビー小体型認知症の基礎知識」

講師 松井 裕介 先生(兵庫県立淡路医療センター 精神科 医長)

16時～ 映画上映

### 「妻の病—レビー小体型認知症—」

「痴呆」から「認知症」へと呼び名が改められ、社会の認識が変わりつつあるといわれて10年あまりが経ちます。けれども、まだまだ「認知症」への「誤解」や“偏見”、そして、“あきらめ”がはびこっているのが現状です。

映画『妻の病—レビー小体型認知症—』は、そういった状況の中で、悪戦苦闘しながら生きている「認知症」の患者本人と、家族やケアする人たちの日々を追ったひとつのケーススタディです。

主人公は、四国・南国市に暮らす、石本浩市・弥生夫妻。今なお正確な情報が少ない「認知症」のひとつ、「レビー小体型認知症」と向き合い、石本夫妻が手を取り合って、一步一步を大切に歩いていく姿が描かれます。

お問い合わせは、TEL078-393-1803 協会事務局 山下 まで

兵庫県保険医協会淡路支部第38回総会(5/28) 出欠確認

FAX返信 078-393-1820 山下 あて

- ①総会議事 (ご出席・都合がつけば)
- ②ミニ講演&映画上映 (ご出席・都合がつけば)
- ③懇親会 ※会員参加無料 (ご出席・都合がつけば)

地区 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 医療機関名 \_\_\_\_\_ 代表者 \_\_\_\_\_